

製品名: TAGAP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21240**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:100-1:300,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW::Observed MW:80kD

抗原情報

遺伝子名	TAGAP;TAGAP1;FKSG15
別名	TAGAP;TAGAP1;FKSG15;T-cell activation Rho GTPase-activating protein ;T-cell activation GTPase-activating protein;
遺伝子 ID	117289.0
SwissProt ID	Q8N103
免疫原	ヒト TAGAP の組み換えタンパク質

背景

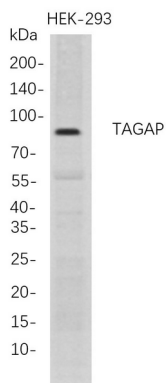
この遺伝子は、Rho GTPase 活性化タンパク質スーパーファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、

Rho GTPase 活性化タンパク質として機能する可能性があります。この遺伝子の変異は、関節リウマチ、セリアック病、多発性硬化症など、いくつかの疾患と関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013年7月]

研究分野

-

画像データ



HEK-293 全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを抗 TAGAP ウサギモノクローナル抗体でブロットニングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。